

「やってみたい」から始まる、本気の探究。

探究サポートラボ



主催：NPO法人 日本科学振興協会

協賛：横浜国立大学 協力：学生団体 BrIDGE

◆ 探究サポートラボとは

探究サポートラボの出発点は、みなさんの「なぜ？」「やってみたい！」という好奇心です。私たちは、その好奇心を、自分の手で調べ、確かめられる探究へと育てていきます。

みなさん一人ひとりに、大学教員などの様々な科学のプロがしっかりと伴走します。みなさんの好奇心を、科学的に地に足のついた形で深めていけるよう、月1回程度のオンラインミーティングでじっくり相談に乗っていきます。みなさんの歩みと成長を確かめ合う大切な機会として、11月に中間発表、3月に最終発表の機会を用意しています。



◆ 探究活動費の支給

みなさんが家庭事情や地域環境によって調査や実験をあきらめないよう、交通費や材料費などに使える活動費を支給すべく、クラウドファンディングを実施しています。活動費は、支援総額やみなさんに提出いただく計画書から決定します。



◆ スケジュール



◆ 伴走メンター紹介

あなたの探究に、この人たちが伴走します



山吉 麻子
東京科学大学 教授
生体関連化学



雲財 寛
広島大学 准教授
教育学



小野 悠
豊橋技術科学大学 准教授
都市工学



越後 巧
ITソリューション会社勤務
社会実装

20名以上のメンターが参加者の探究活動に伴走します。顔ぶれは、上記ウェブページをご覧ください。

「やってみたい」から始まる、本気の探究。

探究サポートラボ



◆ 参加方法

右の公式ページのフォームよりご応募ください。その際、以下6つの問いかけに答えていただきます。8月～9月に事前相談会を開催していますので、ぜひご活用ください。開催スケジュールはウェブページをご覧ください。



1. タイトル

2. テーマ選定の背景

あなたが自分のテーマを選ぶに至ったきっかけや経緯、やりたいと思った理由など

3. 取り組み内容

テーマの中でどのような活動をしていきたいか、可能な範囲でできるだけ具体的に

4. これまでの取り組みについて

すでにテーマに取り掛かっているのであればその内容、

そうでなければテーマ周辺のことがらについて、現時点で分かっていること、知っていること

5. 必要な支援、アドバイス

テーマを進めるにあたって、メンターや専門家に期待すること、提供してほしいこと

6. 目標とその後

あなたの取り組みをどのような結果、成果につなげたいと考えますか？

◆ これまでの参加者のテーマの例

医療	➤ 女子高生の摂食障害と SNS ➤ 海から考える地球温暖化対策 ➤ 効果的な人工リーフの形状
工学・環境	➤ 使い捨てプラスチックを使用しない「食べられる」パッケージ ➤ より人間にフレンドリーなダンゴムシ型ロボットの構想 ➤ やりたいことを諦めないー視覚補助で全ての人に同程度の安全をー ➤ 「無色透明な遮光板」で明るい世界を
芸術	➤ 声に含まれる倍音と聞き手が受ける印象の関係性 ➤ 信頼のおける友達が必ずできる大学をつくる
社会科学	➤ 貧困・孤立をなくすための子ども食堂 ➤ 部活動と非認知能力の育成 ➤ 中学校における内申点制度に代わる新しい評価制度の研究 ➤ ザンビア共和国のMuke村の学校支援
人文	➤ 即興型英語ディベートスピーチの研究 ➤ ボードゲームの教科学習における中学校教育現場への導入 ➤ 認知言語学における言葉表現 ➤ 江戸時代の寺子屋・私塾の仕組みを現代日本の教育課程へ導入
文理融合	➤ 学校におけるより効果的な環境教育 ➤ 視覚情報が感覚に与える影響 ➤ 高等学校における思考の可視化 ➤ 大豆ミートから新食材へ ➤ 途上国での医療活動におけるデータプラットフォームをつくる